

運営会議 (旧 まちの課題整理プロジェクトチーム) における  
課題整理状況  
(第33回 全体会 資料)

2019/11/5

分冊④

【身体障がい者・知的障がい者

地域生活移行推進プロジェクトチーム】

【精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム】

⇒平成30年度末でプロジェクトチームを終結。平成32年度までに設置予定の精神障がい者の地域包括ケアシステムの協議の場にて課題検討を継続。

※課題No. 下の ( ) 内は課題提出年度

No. (年度)	事例、問題提起、困りごと	課題
例	<p>誰が何を困っているのか？ 〇〇が〇〇 〇〇という事例</p>	<p>〇〇という課題がある 〇〇が必要</p>
35 (H25)	<p>〇一人暮らしの不安 これから一人暮らしを始めようとする人たちが持つ不安に対してどのように支援をしてゆくのか。長い間、入所施設や親元で暮らしていた障がい者が、これまで経験したことのない一人暮らしを始めようとする際、少なからず不安を覚えるであろうことは想像に難くない。特にその日常生活にさまざまな支援を必要とする障がい者の場合はなおさらである。 1か月程度の「宿泊体験プログラム」への助成制度や、家具設備があり保証人不要の短期賃貸マンションを活用したアパート生活の体験入所支援等を実施しているところもある。「地域生活の体験」に向けての支援が、障がい者のみならず、その家族の不安を軽減することに役立つと思われる。(東区18)</p>	<p>一人暮らしを始める人たちの不安を解消する仕組みについて検討する。</p>
69 (H26)	<p>札幌市内、近郊で受け入れてもらえる入所施設が見つからない。(相談) ※個別ケースのため詳細は記載しません。</p>	<p>入所できる施設が見つからない 入所施設を効果的に活用するための利用者の循環システムが必要では？地域に出られる人は出し、地域では難しい人を一定期間施設で見えていくという流れが作れたら助かるが・・・。</p>

<p>運営会議 (旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての見解</p>	<p>結果</p>	<p>カテゴリ</p>
<p>誰が何をいつどのように</p>	<p>運営会議 (旧まちの課題整理プロジェクトチーム) の見解を受けた結果、〇〇部会による結果や協議会での議論の結果などを記載し、全体で共有する。</p>	
<p><b>【課題整理済】</b>                  住まいに関するプロジェクトチームで検討。及び、運営会議で検討中の身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームができたならそちらでも検討をすることにする。</p> <p>※住まいに関するプロジェクトチーム (平成29年6月22日)                  運営会議から上がってきたこの課題について共有。今後プロジェクトで検討していく課題として共有する。</p>	<p>平成30年度 身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームが設置。課題検討中。</p>	<p>主：住まい                  掲載：地域移行</p>
<p><b>【課題整理済】</b>                  触法ケースは、障がいだけの問題ではない。司法は、障害福祉に依頼してくる。入所施設だと、受入は定員がいっぱい。触法ケースについては、発達障がい者支援手法開発会議にお願いしてもよいのではないかと。入所施設からグループホームに移行しても、高齢になって施設に戻ることがあるので、介護保険に繋がることも必要。地域での受け皿が無いから、入所施設が必要になる。入所施設からの地域移行について、今後の取り組みをどのようにするか。次年度はアセスメントから実施したい。</p> <p>身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム設置。</p>	<p>身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームにて課題検討。</p>	<p>主：社会資源                  掲載：地域移行</p>